

財 務 諸 表 等

令和 3年度

(第8期事業年度)

自 令 和 3 年 4 月 1 日

至 令 和 4 年 3 月 31 日



地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター

目 次

1 財務諸表

貸借対照表	1
損益計算書	3
キャッシュ・フロー計算書	4
利益の処分に関する書類(案)	5
行政サービス実施コスト計算書	6
注記事項	7

2 財務諸表(附属明細書)

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細	11
(2) たな卸資産の明細	12
(3) 長期貸付金の明細	13
(4) 長期借入金の明細	14
(5) 移行前地方債償還債務の明細	15
(6) 引当金の明細	16
(7) 資本金及び資本剰余金の明細	17
(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	18
(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細	18
(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細	19
(11) 役員及び職員の給与の明細	20
(12) 開示すべきセグメント情報	21
(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	22

3 添付資料

令和 3 年度 決算報告書

令和 3 年度 事業報告書

1 財 務 諸 表

貸 借 対 照 表

(令和 4年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
I. 固定資産		
1. 有形固定資産		
土地		1,891,720,000
建物	10,928,084,401	
建物減価償却累計額	<u>△ 3,128,640,397</u>	7,799,444,004
構築物	1,656,263,209	
構築物減価償却累計額	<u>△ 436,233,076</u>	1,220,030,133
車両運搬具	19,012,134	
車両運搬具減価償却累計額	<u>△ 18,127,041</u>	885,093
工具器具備品	5,975,553,017	
工具器具備品減価償却累計額	<u>△ 4,782,895,434</u>	1,192,657,583
建設仮勘定		<u>278,425</u>
有形固定資産合計		12,105,015,238
2. 無形固定資産		
ソフトウェア		101,281,556
その他無形固定資産		<u>4,782,800</u>
無形固定資産合計		106,064,356
3. 投資その他の資産		
長期貸付金		2,120,400
長期前払費用		477,312,098
破産更生債権等	4,351,759	
貸倒引当金(破産更生債権等)	<u>△ 4,351,759</u>	0
その他投資		<u>3,330,000</u>
投資その他の資産合計		<u>482,762,498</u>
固定資産合計		12,693,842,092
II. 流動資産		
現金及び預金		6,460,515,992
うち、定期預金		3,000,000,000
医業未収金	2,156,959,958	
貸倒引当金	<u>△ 5,862,240</u>	2,151,097,718
未収金		429,422,552
たな卸資産		71,308,288
前払費用		<u>2,907,015</u>
流動資産合計		<u>9,115,251,565</u>
資産合計		<u><u>21,809,093,657</u></u>

貸 借 対 照 表

(令和 4年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
負債の部		
I. 固定負債		
資産見返負債		
資産見返運営費負担金	45,891,570	
資産見返運営費交付金	1	
資産見返物品受贈額	126,258	
資産見返補助金	883,091,558	
資産見返寄附金	376,510	
長期借入金	8,951,767,726	
移行前地方債償還債務	2,698,206,046	
引当金		
退職給付引当金	3,543,336,788	
固定負債合計		16,122,796,457
II. 流動負債		
未払金	1,170,651,887	
預り金	53,696,207	
一年以内返済予定長期借入金	658,468,186	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	237,068,985	
引当金		
賞与引当金	364,302,454	
預り補助金	1,600,000	
前受収益	1,098,079	
未払消費税	14,273,700	
流動負債合計		2,501,159,498
負債合計		18,623,955,955
純資産の部		
I. 資本金		
設立団体出資金	2,322,148,685	
資本金合計		2,322,148,685
II 利益剰余金		
当期末処分利益	862,989,017	
(うち当期総利益)	(1,188,905,194)	
利益剰余金合計		862,989,017
純資産合計		3,185,137,702
負債純資産合計		21,809,093,657

損 益 計 算 書

(令和 3年4月1日～令和 4年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
営業収益		
医業収益		
入院収益	8,717,412,078	
外来収益	3,102,733,070	
その他医業収益	<u>538,229,301</u>	12,358,374,449
運営費負担金収益		681,064,300
運営費交付金収益		145,659,833
補助金等収益		1,926,803,551
寄附金収益		5,127,555
資産見返運営費負担金戻入		210,066,168
資産見返物品受贈額戻入		2,495,228
資産見返補助金等戻入		109,398,190
資産見返寄附金等戻入		220,005
受託収益		101,759,086
その他営業収益		<u>42,907,000</u>
営業収益合計		15,583,875,365
営業費用		
医業費用		
給与費	7,234,002,562	
材料費	3,274,197,409	
経費	2,044,411,070	
減価償却費	955,528,171	
研究研修費	<u>15,684,563</u>	13,523,823,775
一般管理費		
給与費	174,490,094	
経費	5,445,328	
研究研修費	<u>7,274</u>	179,942,696
営業費用合計		<u>13,703,766,471</u>
営業利益		1,880,108,894
営業外収益		
運営費負担金収益		48,360,960
財務収益		
受取利息	<u>1,123,690</u>	1,123,690
その他営業外収益		<u>51,849,374</u>
営業外収益合計		101,334,024
営業外費用		
財務費用		
移行前地方債利息	53,955,497	
長期借入金利息	<u>105,391,110</u>	159,346,607
その他営業外費用		<u>633,191,117</u>
営業外費用合計		<u>792,537,724</u>
経常利益		<u>1,188,905,194</u>
当期純利益		<u>1,188,905,194</u>
当期総利益		<u><u>1,188,905,194</u></u>

キャッシュ・フロー計算書

(令和 3年4月1日～令和 4年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー

材料の購入による支出	△ 3,338,233,946
人件費支出	△ 7,293,488,857
その他の業務支出	△ 2,507,276,314
医業収入	12,323,018,180
運営費負担金収入	729,425,260
運営費交付金収入	145,659,833
補助金等収入	2,671,220,907
その他の収入	200,769,584
小計	2,931,094,647
利息の受取額	1,123,690
利息の支払額	△ 159,346,607
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,772,871,730

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻による収入	2,000,000,000
定期預金の預入による支出	△ 3,000,000,000
有形固定資産の取得による支出	△ 635,007,738
長期貸付金の回収による収入	958,400
長期貸付金の貸付による支出	△ 2,120,400
補助金等による収入	467,910,089
運営費負担金収入	192,914,204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 975,345,445

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入	422,900,000
長期借入金の返済による支出	△ 651,913,064
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 253,311,676
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 482,324,740

IV 資金増加額	1,315,201,545
V 資金期首残高	2,145,314,447
VI 資金期末残高	3,460,515,992

利益の処分にに関する書類

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額
I 当期未処分利益	862,989,017
当期総利益	1,188,905,194
前期繰越欠損金	325,916,177
II 利益処分別	
積立金	862,989,017

行政サービス実施コスト計算書

(令和 3年4月1日～令和 4年3月31日)

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

科 目	金 額	
I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用	13,523,823,775	
一般管理費	179,942,696	
営業外費用	792,537,724	14,496,304,195
(2)(控除)自己収入等		
医業収益	△ 12,358,374,449	
受託収益	△ 101,759,086	
その他営業収益	△ 42,907,000	
寄附金収益	△ 5,127,555	
資産見返寄附金等戻入	△ 220,005	
営業外収益	△ 52,973,064	△ 12,561,361,159
業務費用合計		1,934,943,036
(うち減価償却充当補助金相当額)		(321,959,586)
II 引当外退職給付増加見積額		708,354
III 機会費用		
地方公共団体出資の機会費用	5,062,284	5,062,284
IV 行政サービス実施コスト		1,940,713,674

注 記 事 項

I 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準

期間進行基準を採用しております。

ただし、移行前地方債元金利息償還金、長期借入金元金利息償還金に要する経費については費用進行基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1)有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は、以下のとおりです。

建物	8 ～	39	年
構築物	15 ～	40	年
車両	4 ～	7	年
工具器具備品	4 ～	10	年

(2)無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については期間定額基準によっております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間内の一定の年数(14年)による定額法により按分した額を、翌事業年度から費用処理することとしております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、会計基準第87により引当対象外とされた派遣職員について、会計基準第36に基づき計算された退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

医業未収金(患者負担分)の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率(回収不能率)により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 有価証券の評価基準及び評価方法

該当ありません。

7. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1)医薬品 先入先出法に基づく低価法によっております。

(2)診療材料 先入先出法に基づく低価法によっております。

(3)貯蔵品 先入先出法に基づく低価法によっております。

8. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

岡山市出資等の機会費用の計算に使用した利率については、10年利付国債の令和4年3月末における利回りを参考に 0.218%で計算しております。

9. リース取引の処理方法

リース料総額が300万を超えるファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II 固定資産の減損の処理方法

1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人においては、市民病院及びせのお病院の2施設を個別の固定資産グループとしております。

2. 共用資産の概要

共用資産はありません。

III キャッシュ・フロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	6,460,515,992 円
現金及び預金勘定のうち定期預金	△ 3,000,000,000 円
資金期末残高	<u>3,460,515,992 円</u>

2. 重要な非資金取引

該当ありません。

IV 退職給付関係

1. 採用している退職給付制度の概要

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	3,400,135,576 円
勤務費用	287,329,614 円
利息費用	27,179,791 円
数理計算上の差異の当期発生額	23,796,075 円
退職給付の支払額	△ 207,195,115 円
期末における退職給付債務	<u>3,531,245,941 円</u>

(2) 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の未積立退職給付債務	3,531,245,941 円
未認識数理計算上の差異	12,090,847 円
退職給付引当金	<u>3,543,336,788 円</u>

(3) 退職給付に関連する損益

勤務費用	287,329,614 円
利息費用	27,179,791 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	1,016,275 円
合計	<u>315,525,680 円</u>

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

割引率(イールドカーブ等価アプローチを採用しております。) 0.8 %

V 金融商品関係

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については短期的な資金に限定し、また、設立団体からの長期借入により資金を調達しております。資金の用途については、事業投資資金(長期)です。

医業未収金等、未収債権等については、会計規定等に沿ってリスク低減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については次のとおりです。

なお、重要性の乏しいものについては、注記を省略しております。

(単位:円)

	貸借対照表 計上額(※)	時価(※)	差額(※)
(1) 現金及び預金	6,460,515,992	6,460,515,992	-
(2) 医業未収金 (貸倒引当金控除後)	2,151,097,718	2,151,097,718	-
(3) 未収金	429,422,552	429,422,552	-
(4) 未払金	(1,170,651,887)	(1,170,651,887)	-
(5) 移行前地方債償還債務 (1年以内返済予定を含む)	(2,935,275,031)	(3,280,245,340)	(344,970,309)
(6) 長期借入金 (1年以内返済予定を含む)	(9,610,235,912)	(10,411,923,377)	(801,687,465)

(※)医業未収金は貸倒引当金控除後で示しております。

(※)負債に計上されているものは、()で示しております。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)現金及び預金、(2)医業未収金、(3)未収金並びに(4)未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

(5)移行前地方債償還債務及び(6)長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

VI 重要な債務負担行為

当事業年度末までに契約を締結し、翌事業年度以降に支払が発生する重要なものは以下のとおりです。

(単位:円)

契約内容	契約期間	契約金額	翌事業年度以降 の支払額
岡山市立市民病院1階外来医事・2 階受付業務委託契約	R3.4.1 ~ R5.3.31	208,032,000	104,016,000
医療情報システム更新業務委託	R3.7.30 ~ R4.5.31	833,800,000	833,800,000

2 財 務 諸 表

(附 属 明 細 書)

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		差引期末残高	適用
					当期償却額	当期償却額		
有形固定資産 (償却費損益内)								
建物	10,744,175,499	183,908,902	-	10,928,084,401	3,128,640,397	473,615,998	7,799,444,004	
構築物	1,656,263,209	-	-	1,656,263,209	436,233,076	63,036,847	1,220,030,133	
車両運搬具	19,012,134	-	-	19,012,134	18,127,041	254,155	885,093	
工具器具備品	5,511,899,968	477,281,296	13,628,247	5,975,553,017	4,782,895,434	366,670,359	1,192,657,583	
計	17,931,350,810	661,190,198	13,628,247	18,578,912,761	8,365,895,948	903,577,359	10,213,016,813	
(償却費損益外)								
構築物	-	-	-	-	-	-	-	
車両運搬具	-	-	-	-	-	-	-	
工具器具備品	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	-	-	
非償却資産	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	
土地	278,425	-	-	278,425	-	-	278,425	
建設仮勘定	1,891,998,425	-	-	1,891,998,425	-	-	1,891,998,425	
計	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	-	-	1,891,720,000	
有形固定資産 (合計)	10,744,175,499	183,908,902	-	10,928,084,401	3,128,640,397	473,615,998	7,799,444,004	
建物	1,656,263,209	-	-	1,656,263,209	436,233,076	63,036,847	1,220,030,133	
構築物	19,012,134	-	-	19,012,134	18,127,041	254,155	885,093	
車両運搬具	5,511,899,968	477,281,296	13,628,247	5,975,553,017	4,782,895,434	366,670,359	1,192,657,583	
工具器具備品	278,425	-	-	278,425	-	-	278,425	
建設仮勘定	19,823,349,235	661,190,198	13,628,247	20,470,911,186	8,365,895,948	903,577,359	12,105,015,238	
計	593,062,263	21,850,000	-	614,912,263	513,630,707	51,276,311	101,281,556	
無形固定資産	14,054,342	-	-	14,054,342	9,271,542	674,501	4,782,800	
ソフトウェア	607,116,605	21,850,000	-	628,966,605	522,902,249	51,950,812	106,064,356	
その他無形固定資産	5,207,868	2,120,400	5,207,868	2,120,400	-	-	2,120,400	
計	528,289,484	64,660,777	115,638,163	477,312,098	-	-	477,312,098	
投資その他の資産	3,330,000	-	-	3,330,000	-	-	3,330,000	
長期貸付金	536,827,352	66,781,177	120,846,031	482,762,498	-	-	482,762,498	
長期前払費用	-	-	-	-	-	-	-	
その他投資	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	-	-	

(2)たな卸資産の明細

(単位:円)

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		当期購入・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	59,004,373	2,124,970,802	-	2,113,063,957	918,549	69,992,669	
診療材料	596,237	1,123,164,651	-	1,123,121,615	-	639,273	
貯蔵品	590,958	37,762,110	-	37,676,722	-	676,346	
計	60,191,568	3,285,897,563	-	3,273,862,294	918,549	71,308,288	

(注) 当期減少額のうち、期限切れによる廃棄をした資産等を記載しております。

(3)長期貸付金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			回収額	償却額		
その他長期貸付金						
認定看護師等奨学金貸与	5,207,868	2,120,400	958,400	4,249,468	2,120,400	
計	5,207,868	2,120,400	958,400	4,249,468	2,120,400	

(注)当期減少額のうち、「償却額」は、奨学金の貸与に関する要綱12条による返還免除額等です。

(4) 長期借入金の明細

病院別	種 別	期首残高	当期増加	当期減少	償還高累計	期末残高	利 率	返済期限	摘 要
市 民 病 院	平成26年度 建設改良資金借入金	円 8,758,818,279	円 -	円 316,951,175	円 630,132,896	円 8,441,867,104	1.200%	平成27年3月25日 ～ 令和27年3月1日	
	平成28年度 建設改良資金借入金		-	45,020,768	202,600,000	-	0.133%	平成29年3月31日 ～ 令和4年3月31日	
	平成29年度 建設改良資金借入金	154,976,000	-	77,488,000	271,212,000	77,488,000	0.229%	平成30年3月30日 ～ 令和5年3月31日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	28,900,000	-	3,612,500	3,612,500	25,287,500	0.010%	平成31年3月28日 ～ 令和11年3月20日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	30,900,000	-	10,300,000	30,900,000	20,600,000	0.010%	平成31年3月28日 ～ 令和11年3月20日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	173,700,000	-	57,900,000	173,700,000	115,800,000	0.115%	平成31年3月29日 ～ 令和6年3月28日	
	令和元年度 建設改良資金借入金	10,000,000	-	-	-	10,000,000	0.003%	令和2年3月30日 ～ 令和12年3月20日	
	令和元年度 建設改良資金借入金	18,320,000	-	4,580,000	9,160,000	13,740,000	0.002%	令和2年3月30日 ～ 令和7年3月20日	
	令和元年度 建設改良資金借入金	126,640,000	-	31,660,000	63,320,000	94,980,000	0.080%	令和2年3月31日 ～ 令和7年3月29日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	5,400,000	-	1,080,000	1,080,000	4,320,000	0.003%	令和3年3月30日 ～ 令和8年3月20日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	16,000,000	-	-	-	16,000,000	0.350%	令和3年3月31日 ～ 令和13年3月29日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	159,800,000	-	31,960,000	31,960,000	127,840,000	0.185%	令和3年3月31日 ～ 令和8年3月29日	
	令和3年度 建設改良資金借入金	-	81,200,000	-	-	81,200,000	0.200%	令和4年3月30日 ～ 令和14年3月20日	
	令和3年度 建設改良資金借入金	-	211,900,000	-	-	211,900,000	0.100%	令和4年3月31日 ～ 令和9年3月31日	
	小 計	9,528,475,047	293,100,000	580,552,443	1,417,677,396	9,241,022,604			
せ の お 病 院	平成26年度 建設改良資金借入金	8,634,383	-	2,152,128	10,717,745	6,482,255	0.200%	平成27年3月25日 ～ 令和7年3月1日	
	平成27年度 建設改良資金借入金	7,260,872	-	2,417,872	9,657,000	4,843,000	0.100%	平成28年3月25日 ～ 令和6年3月1日	
	平成28年度 建設改良資金借入金	4,425,442	-	737,389	2,211,947	3,688,053	0.010%	平成29年3月30日 ～ 令和9年3月20日	
	平成28年度 建設改良資金借入金	3,133,232	-	3,133,232	14,100,000	-	0.133%	平成29年3月31日 ～ 令和4年3月29日	
	平成29年度 建設改良資金借入金	15,575,000	-	2,225,000	4,450,000	13,350,000	0.010%	平成30年3月29日 ～ 令和10年3月20日	
	平成29年度 建設改良資金借入金	57,080,000	-	28,540,000	114,160,000	28,540,000	0.010%	平成30年3月29日 ～ 令和5年3月20日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	4,725,000	-	1,575,000	3,150,000	3,150,000	0.010%	平成31年3月28日 ～ 令和6年3月20日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	46,400,000	-	5,800,000	5,800,000	40,600,000	0.010%	平成31年3月28日 ～ 令和11年3月20日	
	平成30年度 建設改良資金借入金	11,040,000	-	3,680,000	11,040,000	7,360,000	0.115%	平成31年3月29日 ～ 令和6年3月29日	
	令和1年度 建設改良資金借入金	38,700,000	-	-	-	38,700,000	0.003%	令和2年3月30日 ～ 令和12年3月1日	
	令和1年度 建設改良資金借入金	16,000,000	-	4,000,000	8,000,000	12,000,000	0.080%	令和2年3月31日 ～ 令和7年3月29日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	12,300,000	-	-	-	12,300,000	0.350%	令和3年3月31日 ～ 令和13年3月29日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	16,300,000	-	3,260,000	3,260,000	13,040,000	0.185%	令和3年3月29日 ～ 令和8年3月29日	
	令和2年度 建設改良資金借入金	69,200,000	-	13,840,000	13,840,000	55,360,000	0.185%	令和3年3月31日 ～ 令和8年3月29日	
	令和3年度 建設改良資金借入金	-	12,100,000	-	-	12,100,000	0.100%	令和4年3月31日 ～ 令和9年3月31日	
	令和3年度 建設改良資金借入金	-	117,700,000	-	-	117,700,000	0.200%	令和4年3月30日 ～ 令和14年3月20日	
	小 計	310,773,929	129,800,000	71,360,621	200,366,692	369,213,308			
	合 計	9,839,248,976	422,900,000	651,913,064	1,618,064,088	9,610,235,912			

(5) 移行前地方債償還債務の明細

病院別	種 別	期首残高	当期増加	当期減少	償還高累計	期末残高	利 率	返済期限	摘 要
市 民 病 院	平成23年度 財政融資資金	円 81,153,458	-	円 3,245,566	円 15,692,108	円 77,907,892	1.700%	平成24年3月26日 ～ 令和24年3月1日	
	平成24年度 財政融資資金	2,791,583,698	-	107,977,107	422,393,409	2,683,606,591	1.500%	平成25年3月25日 ～ 令和25年3月1日	
	平成25年度 財政融資資金	52,855,762	-	1,962,719	5,806,957	50,893,043	1.400%	平成26年3月25日 ～ 令和26年3月1日	
	小 計	2,925,592,918	-	113,185,392	443,892,474	2,812,407,526			
病院別	種 別	期首残高	当期増加	当期減少	償還高累計	期末残高	利率	返済期間	摘 要
せ の お 病 院	平成3年度 資金運用部資金	68,480,317	-	45,082,019	653,601,702	23,398,298	5.050%	平成4年10月12日 ～ 令和4年9月25日	
	平成4年度 資金運用部資金	190,707,270	-	93,278,925	1,419,571,655	97,428,345	4.400%	平成5年3月25日 ～ 令和5年3月25日	
	平成5年度 資金運用部資金	3,341,202	-	1,300,340	20,959,138	2,040,862	3.650%	平成6年2月10日 ～ 令和5年9月25日	
	平成22年度 財政融資資金	-	-	-	-	-	0.900%	平成23年3月25日 ～ 令和3年3月1日	
	平成23年度 縁故資金	465,000	-	465,000	3,900,000	-	1.005%	平成24年3月30日 ～ 令和4年3月29日	
	小 計	262,993,789	-	140,126,284	2,098,032,495	122,867,505			
合 計		3,188,586,707	-	253,311,676	2,541,924,969	2,935,275,031			

(6) 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘 要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	3,435,006,223	315,525,680	207,195,115	-	3,543,336,788	
賞与引当金	352,373,120	364,302,454	352,373,120	-	364,302,454	
貸倒引当金	9,004,436	6,012,628	4,803,065	-	10,213,999	
計	3,796,383,779	685,840,762	564,371,300	-	3,917,853,241	

(7) 資本金及び資本剰余金の明細

(単位: 円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
資本金	岡山市出資金	2,322,148,685	-	-	2,322,148,685	
	計	2,322,148,685	-	-	2,322,148,685	
資本剰余金	資本剰余金	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	

(8) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

①運営費負担金債務

負担年度	期首残高	負担金 当期交付額	当期振替額				期末残高	摘 要
			運営費負担金 収益	資産見返 運営費負担金	資本剰余金	小 計		
令和3年度	-	922,339,464	729,425,260	192,914,204	-	922,339,464	-	
合計	-	922,339,464	729,425,260	192,914,204	-	922,339,464	-	

注) 資産見返運営費負担金については、長期借入金の元本償還に対する負担金であり、対象資産の減価償却費を限度として、元本償還相当額を収益化しています。

②運営費負担金収益

業務等区分	(単位:円)	
	令和3年度 負担分	合 計
期間進行基準	552,515,325	552,515,325
費用進行基準	176,909,935	176,909,935
合計	729,425,260	729,425,260

(9) 運営費交付金債務及び運営費交付金収益の明細

①運営費交付金債務

負担年度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高	摘 要
			運営費交付金 収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小 計		
令和3年度	-	145,659,833	145,659,833	-	-	145,659,833	-	
合計	-	145,659,833	145,659,833	-	-	145,659,833	-	

②運営費交付金収益

業務等区分	(単位:円)	
	令和3年度 負担分	合 計
期間進行基準	145,659,833	145,659,833
費用進行基準	-	-
合計	145,659,833	145,659,833

(10) 地方公共団体等からの財源措置の明細

補助金等の明細

(単位:円)

病院別	区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘 要
			建設仮勘定 補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	預り 補助金等	収益計上	
市民病院	医師臨床研修費等補助金	13,894,000					13,894,000	
	医師臨床研修費等補助金(協力型)	5,904,630					5,904,630	
	救急救命士病院実習受入促進事業費補助金	965,000					965,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (救急勤務医支援事業)	333,000					333,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (院内保育運営事業)	1,368,000					1,368,000	
	岡山県地域医療介護総合確保基金事業補助金 (新人看護職員研修事業)	600,000					600,000	
	病院群輪番制病院等運営事業補助金	3,019,200					3,019,200	
	ふれあい看護体験実施施設補助金	10,000					10,000	
	岡山県看護師の特定行為研修助成事業補助金	900,000					900,000	
	医療施設運営費等補助金(看護師の特定行為に係る 研修機関導入促進支援事業)	988,000					988,000	
	特定求職者雇用開発助成金	330,000					330,000	
	小山基金助成金	1,600,000				1,600,000		
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院病床確 保事業補助金	1,840,754,000		35,348,089			1,805,405,911	
	岡山県新型コロナウイルス感染症入院患者受入支援 給付金	42,300,000					42,300,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関 支援補助金	32,000					32,000	
	令和3年度岡山県新型コロナ感染症重点医療機関等設 備整備費補助金	45,496,000		45,496,000				
	令和3年度岡山県新型コロナ感染症重点医療機関等設 備整備費補助金(追加)	62,524,000		62,524,000				
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機 関等設備整備費補助金(新型コロナウイルス感染症患 者等入院医療機関設備整備事業)	20,530,000		20,530,000			-	
	岡山県新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機 関等設備整備費補助金(感染症検査機関等設備整備 事業)	55,880,000		55,880,000				
	岡山県新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れの ための救急・周産期・小児医療体制確保事業費補助金	1,192,000		704,000			488,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れの ための救急・周産期・小児医療体制確保事業費補助金 (追加)	321,000					321,000	
	岡山県新型コロナウイルス感染症に係る医療従事者危 険手当補助金	12,140,000					12,140,000	
	岡山県発熱外来診療・検査医療機関体制確保補助金	200,000					200,000	
	岡山県診療・検査医療機関休日診療体制確保補助金	6,700,000					6,700,000	
	新型コロナウイルス感染症無料検査等支援補助金	4,930,000					4,930,000	
	新型コロナウイルス感染症無料検査体制整備支援補 助金	847,000					847,000	
	令和3年度(令和2年度からの繰越分)インフルエンザ 流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金(イ ンフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・ 検査体制確保事業実施医療機関支援事業)	4,695,000					4,695,000	
	新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関 緊急支援事業補助金	26,000,000		7,150,000			18,850,000	
	令和3年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継 続支援補助金	100,000					100,000	
	新型コロナワクチン接種実施に係る補助金	75,000					75,000	
	小計	2,154,627,830	-	227,632,089	-	1,600,000	1,925,395,741	
せのお病院	休日当番医による都窪医師会より補助金	150,000					150,000	
	岡山県医療機関・薬局等における感染拡大防止等支 援事業補助金	100,000					100,000	
	岡山県住宅重症難病患者一時入院事業受託費	57,810					57,810	
	岡山県発熱外来診療・検査医療機関体制確保補助金	200,000					200,000	
	岡山県診療・検査医療機関休日診療体制確保補助金	900,000					900,000	
	小計	1,407,810	-	-	-	-	1,407,810	
	合計	2,156,035,640	-	227,632,089	-	1,600,000	1,926,803,551	

(11) 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円、人)

区 分	報酬又は給与		退職給与	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役 員	33,238 (720)	2 (5)	5,110 (-)	2 (-)
職 員	5,208,160 (800,253)	732 (305)	202,085 (-)	50 (-)
合 計	5,241,398 (800,973)	734 (310)	207,195 (-)	52 (-)

(注1)支給額及び支給人員

また、支給人員については平均支給人員で記載しております。

(注2)役員報酬基準及び職員給与基準の概要

役員報酬については、「地方独立行政法人岡山市立総合医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しております。

職員については、「地方独立行政法人岡山市立総合医療センター職員給与規程」に基づき支給しております。

(注3)法定福利費

上記明細には法定福利費は含めておりません。

(12) 開示すべきセグメント情報

(単位:円)

区 分	岡山市立市民病院	岡山市立せのお病院	合 計
営業収益			
医業収益	14,474,428,385	1,109,446,980	15,583,875,365
運営費負担金収益	11,515,717,461	842,656,988	12,358,374,449
運営費交付金収益	460,902,579	220,161,721	681,064,300
補助金等収益	145,376,786	283,047	145,659,833
寄附金収益	1,925,395,741	1,407,810	1,926,803,551
資産見返運営費負担金戻入	5,117,555	10,000	5,127,555
資産見返物品受贈額戻入	176,128,284	33,937,884	210,066,168
資産見返補助金等戻入	2,264,764	230,464	2,495,228
資産見返寄附金等戻入	108,035,754	1,362,436	109,398,190
受託収益	220,005	-	220,005
その他営業収益	92,362,456	9,396,630	101,759,086
その他営業収益	42,907,000	-	42,907,000
営業費用	12,787,485,576	916,280,895	13,703,766,471
医業費用	12,607,542,880	916,280,895	13,523,823,775
一般管理費	179,942,696	-	179,942,696
営業損益	1,686,942,809	193,166,085	1,880,108,894
営業外収益	84,358,881	16,975,143	101,334,024
運営費負担金収益	37,787,741	10,573,219	48,360,960
財務収益	1,116,606	7,084	1,123,690
その他営業外収益	45,454,534	6,394,840	51,849,374
営業外費用	755,857,596	36,680,128	792,537,724
財務費用	148,704,397	10,642,210	159,346,607
その他営業外費用	607,153,199	26,037,918	633,191,117
経常損益	1,015,444,094	173,461,100	1,188,905,194
総資産			
(主要資産内訳)	19,975,669,838	1,833,423,819	21,809,093,657

(注)

セグメントの区分については、地方独立行政法人岡山市立総合医療センター会計規程に基づく経理単位としておりますが、法人本部については、岡山市立市民病院に包括しております。

(13) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

① 医業費用及び一般管理費の明細

(単位:円)

科 目	金 額
営業費用	
医業費用	13,523,823,775
給与費	7,234,002,562
給料及び手当	4,089,030,962
賞与	1,016,417,383
賃金及び報酬	716,883,627
法定福利費	1,098,592,992
退職給付費用	313,077,598
材料費	3,274,197,409
薬品費	1,814,830,971
診療材料費	1,123,121,615
給食材料費	13,790,994
医療消耗備品費	23,302,294
検査材料費	299,151,535
経費	2,044,411,070
厚生福利費	12,931,120
報償費	86,074,153
旅費交通費	239,519
職員被服費	3,704,320
消耗品費	51,834,826
消耗備品費	56,176,372
光熱水費	236,313,319
燃料費	12,795,842
食糧費	23,708
印刷製本費	8,286,637
修繕費	70,832,359
保険料	27,146,960
賃借料	149,345,327
通信運搬費	23,459,141
手数料	179,990,149
委託費	1,114,944,083
諸会費	4,762,650
広告費	2,240,838
図書費	86,365
雑費	312,650
租税公課	147,970
貸倒引当金繰入額	2,640,243
交際費	122,519
減価償却費	955,528,171
建物減価償却費	473,615,998
構築物減価償却費	63,036,847
車両運搬具減価償却費	254,155
工具器具備品減価償却費	366,670,359
無形固定資産減価償却費	51,950,812
研究研修費	15,684,563
謝金	785,993
図書費	7,937,203
旅費	1,454,831
研究雑費	5,506,536
一般管理費	179,942,696
給与費	174,490,094
給料及び手当	87,200,601
賞与	26,128,513
賃金及び報酬	33,944,813
法定福利費	25,640,272
退職給付費用	1,575,895
経費	5,445,328
消耗備品費	35,500
食糧費	2,396
保険料	139,200
賃借料	455
通信運搬費	115
委託費	4,072,572
図書費	66,040
負担金	1,129,050
研究研修費	7,274
営業費用合計	13,703,766,471

② 現金及び預金の内訳 (単位:円)

区 分	期末残高 (法人)	備 考
現金	10,247,197	窓口収入、釣銭準備金、 面替機分
普通預金	3,450,268,795	
定期預金	3,000,000,000	満期日: 令和4年4月27日(20億) 満期日: 令和4年6月14日(10億)
計	6,460,515,992	

③ 医業未収金の内訳 (単位:円)

区 分	期末残高 (法人)	備 考
社会保険診療報酬支払基金岡山支部	648,098,380	
国民健康保険団体連合会	1,323,601,300	
その他	185,260,278	
計	2,156,959,958	

3 添 付 資 料

- 令和 3年度 決算報告書
- 令和 3年度 事業報告書

決 算 報 告 書

令和3年度決算報告書

【地方独立行政法人岡山市立総合医療センター】

(単位:円)

区 分	当初予算額	決 算 額	差 額 (決算額－予算額)	備 考
収入	14,416,000,000	16,277,508,708	1,861,508,708	
営業収益	13,674,000,000	15,518,749,519	1,844,749,519	
医業収益	12,492,000,000	12,413,878,462	△ 78,121,538	
運営費負担金収益	1,049,000,000	2,946,441,888	1,897,441,888	
その他営業収益	133,000,000	158,429,169	25,429,169	
営業外収益	111,000,000	105,668,700	△ 5,331,300	
運営費負担金収益	49,000,000	48,360,960	△ 639,040	
その他営業外収益	62,000,000	57,307,740	△ 4,692,260	
臨時利益	0	0	0	
資本的収入	631,000,000	653,090,489	22,090,489	
長期借入金	631,000,000	422,900,000	△ 208,100,000	
運営費負担金収入	0	0	0	
その他資本収入	0	230,190,489	230,190,489	
支出	14,842,000,000	15,034,854,000	192,854,000	
営業費用	13,060,000,000	13,206,556,363	146,556,363	
医業費用	12,872,000,000	13,022,525,979	150,525,979	
給与費	7,339,000,000	7,128,190,671	△ 210,809,329	
材料費	3,177,000,000	3,602,462,884	425,462,884	
経費	2,295,000,000	2,275,121,443	△ 19,878,557	
研究研修費	61,000,000	16,750,981	△ 44,249,019	
一般管理費	188,000,000	184,030,384	△ 3,969,616	
営業外費用	170,000,000	169,608,282	△ 391,718	
臨時損失	0	0	0	
資本的支出	1,612,000,000	1,658,689,355	46,689,355	
建設改良費	712,000,000	751,344,215	39,344,215	
償還金	900,000,000	905,224,740	5,224,740	
その他資本支出	0	2,120,400	2,120,400	
その他支出	0	0	0	
単年度資金収支(収入－支出)	△ 426,000,000	1,242,654,708	1,668,654,708	

(注)損益計算書の計上額と決算額の集計区分等の相違の概要は、以下のとおりです。

- (1) 損益計算書の営業収益に計上されている資産見返運営費負担金戻入、資産見返運営費交付金戻入、資産見返物品受贈額戻入、資産見返補助金等戻入及び資産見返寄附金戻入は、決算額に含んでおりません。
- (2) 損益計算書の営業費に計上されている、減価償却費は、決算額には含まれておりません。
また、非現金支出の退職給付費用、貸倒引当金繰入額、控除対象外消費税等は決算額に含めず、退職金支払額を決算額に含めています。
- (3) 損益計算書の営業外収益に計上されている貸倒引当金戻入は、決算額には含んでおりません。
- (4) 上記数値は、消費税等込の金額を記載しております。

令和 3 年度 事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 3 1 日

目次

「地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの概要」

1	現況	
(1)	法人名	1
(2)	本部の所在地	1
(3)	役員の状況	1
(4)	運営する病院	1
(5)	職員数	2
2	入院及び外来患者数	2
3	基本的な目標	2
4	基本理念	2
5	基本方針	
	【岡山市立市民病院】	3
	【岡山市立せのお病院】	3

「全体状況」

1	法人運営の総括	3
2	大項目ごとの特記事項	
第1	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3	財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第4	その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第5	予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	
1	令和3年度 予算	8
2	令和3年度 収支計画（損益計画）	9
3	令和3年度 資金計画	10
第6	短期借入金の限度額	11
第7	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	11
第8	剰余金の使途	11
第9	地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	
1	施設及び設備に関する計画	11

「地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの概要」

1 現況（令和3年4月1日現在）

（1）法人名

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター

（2）本部の所在地

岡山市北区北長瀬表町三丁目20番1号

（3）役員の状況

役職名	氏名	備考
理事長	松本 健五	岡山市立市民病院長兼務
常務理事	片山 伸二	法人本部長兼務 法人本部事務局長兼務
理 事	前田 嘉信	岡山大学理事 岡山大学病院長 地方独立行政法人玉野医療センター理事
	東 良平	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター名誉院長
	高橋 邦彰	岡山商工会議所専務理事 岡山県商工会議所連合会専務理事
	今城 健二	岡山市立市民病院副院長兼務
	臼井 正明	岡山市立市民病院副院長兼務
監 事	吉沢 徹	弁護士
	大倉 宏治	公認会計士・税理士

（4）運営する病院

病院名	所在地	病床数
岡山市立 市民病院	岡山市北区北長瀬表町 三丁目20番1号	400 床 ・ 一般病床 387 床 ・ 結核病床 7 床 ・ 感染症病床 6 床
岡山市立 せのお病院	岡山市南区妹尾 850 番地	60 床

		・ 一般病床 ・ 地域包括ケア病床	— 60 床
--	--	----------------------	-----------

(5) 職員数

区分	医師	看護師	事務員	臨床検査 技師ほか	計
特別職	1 人	0 人	1 人	0 人	2 人
正規職員	83 人	432 人	63 人	155 人	733 人
嘱託職員	8 人	0 人	11 人	20 人	39 人
再雇用職員	0 人	7 人	6 人	11 人	24 人
非正規職員	79 人	67 人	79 人	48 人	273 人
計	171 人	506 人	160 人	234 人	1,071 人

※岡山市からの派遣職員を含む。

※職員を兼ねる役員を含む。

2 入院及び外来患者数

病院名	入院患者	外来患者
岡山市立市民病院	111,820 人	133,659 人
岡山市立せのお病院	19,037 人	13,726 人

※令和3年度における延べ患者数

3 基本的な目標

地方独立行政法人岡山市立総合医療センターは、岡山市の医療政策として求められる救急医療、感染症医療、災害時における医療及び高度医療の提供、地域医療の支援等を行うことにより、岡山市内における医療水準の向上を図り、もって市民の生命と健康を守ることを目的とし、市民に必要とされる医療を確実に実施する。

また、柔軟で迅速な人材確保など、機動性・弾力性が高く、自律的な経営を実践するとともに、市民へのより良い医療の提供と、より効果的・効率的な病院運営を行い、地域医療の推進のための重要な役割を担うことにより、岡山市長から指示された中期目標を達成する。

4 基本理念

心技体

- ・心の通い合う医療の提供

- ・質の高い安全な医療の提供
- ・健全で自立した経営と働きやすい職場

5 基本方針

【岡山市立市民病院】

私たちは、市民に信頼され、期待される病院であり続けるために、次のことを実践します。

1. 患者中心の医療

患者に対し十分な説明と同意のもとに医療を提供し、かつ、診療情報を積極的に公開し、患者の尊厳・権利を尊重する患者中心の全人的医療を行います。

2. 医療水準の向上

総合的医療機能を基盤に、高度・特殊・先駆的医療等を担い、さらに地域医療を担う医師の育成、医療従事者の研修の場としての役割を果たし、地域の医療水準の向上に努めます。

3. 安全な医療

患者に安心と信頼をもたらす医療を提供し、また、職員に希望と誇りを育み、充実して働きやすい職場環境を推進します。

4. 地域医療への貢献

地域の医療機関との連携を密にし、また、救急医療を積極的に推進し、市民に愛され信頼される地域の中核病院としての役割を果たします。

5. 健全経営の確保

自治体病院に期待される健康危機管理機能の強化等の公共性を確保するとともに、合理的かつ効率的な病院経営に努めることにより、健全で自立した経営基盤を確立します。

【岡山市立せのお病院】

- ・医療を受ける人の立場に立ち、心のこもった医療を実践します。
- ・患者の権利を尊重し、満足のいく医療を行います。
- ・健全な病院経営に努め、良質な医療サービスを提供します。
- ・保健、福祉、医療の連携のもとに、安心して生活できる地域づくりを推進します。
- ・職員の医療人としての資質の向上に努めます。

「全体状況」

1 法人運営の総括

第2期中期計画の最終年となる今年度も、前年度から続く新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という）の影響を受け、数値目標の達成が困難となった項目もあったが、第2期中期目標を達成するため、理事長の指示のもと、新型コロナに関するの県や市からの要請に迅速に対応するための整備や教育を実施しながら各病院の課題に取り組み、概ね目標を達成した。

市民病院においては「断らない救急」の実現のため、新型コロナの影響による救急車応需率の低下への対策として、重症新型コロナ患者と一般重症患者を同時に診療できる体制を整備する目的で、ICUの個室化や病棟再編を行い、重症対応看護師育成の継続等に取り組んだ。また、救

急センターにおいては、新型コロナ患者の転院搬送を積極的に受け入れ、最重症患者は岡山大学病院へ転院搬送するなど、地域全体を見据えた対応を実践した。

感染症医療については、岡山市保健所及び岡山県との連絡を緊密に行い、厚生労働省からの通知に迅速に対応して院内体制を構築し、新型コロナの県内発生に対応した。災害医療については各種災害医療研修や訓練は中止となったが、新型コロナに対する重点医療機関として重症患者の受入れや発熱外来の設置により対応した。

せのお病院においては、地域住民にリハビリテーションが継続できる環境を提供するため外来リハビリの体制を充実させ、また、高度医療機器の共同利用等により近隣開業医との連携を深めるなど地域のバックアップ病院としての役割を果たした。さらに、新型コロナに対しては、急性期病院からの新型コロナ回復後の患者の受入れに努め後方支援病院としての役割を果たし、初期救急医療においても、市民病院と新型コロナに関する情報交換を行いながら発熱外来を実施した。

2 大項目ごとの特記事項

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

市民病院において、救急医療では、新型コロナの重点医療機関として新型コロナ患者の入院対応及び外来対応を実践した。さらに、重症新型コロナ患者と一般重症患者を同時に診療できるように、集中治療部の個室化工事を行い、重症救急車受入れを改善した。救急センターでは、新型コロナ患者の転院搬送を積極的に受け入れ、最重症患者を岡山大学病院へ転院搬送するなど、地域全体を見据えた対応を実践した。急性期治療終了後の新型コロナ患者の転院も、他院への広報活動が功を奏し、円滑な医療連携ができた。人材育成では、多職種を対象に幅広く教育を実践し、「屋根瓦式教育」の実践も継続した。感染症医療では、岡山市保健所及び岡山県との連絡を緊密に行い、厚生労働省からの通知に迅速に対応して院内体制を構築し、新型コロナの県内発生に対応した。さらに、ゲノム解析も開始し、岡山市内のオミクロン株の変異株動向について保健所に情報を提供した。災害医療では、岡山県の図上防災訓練への参加や事業継続計画（BCP）に基づく訓練を行ったが、新型コロナの影響により、各種災害医療研修や災害派遣医療チーム（DMAT）の継続的な訓練や新規養成は中止となった。一方、新型コロナに対する重点医療機関として、重症患者の受入れや発熱外来の設置により対応した。小児医療では、小児科医師がER副センター長を兼任しスタッフ育成に注力した。周産期医療では、より安全に出産ができるように分娩時に複数医師が立会える機会を増やした。また、帝王切開例と異常分娩等の場合は、小児科医師の分娩立会いにより実施した。セーフティネットでは、社会的困窮者の受入れに常時対応できる体制を維持した。救急医療は「断らない救急」を目指した仕組みを実践した。感染症医療では、新型コロナに対応する施設整備やスタッフ研修等の強化を行い重点医療機関としての役割を果たした。高度専門医療について、がん治療ではコロナ禍にあっても外来や入院の患者数が前年度の減少から回復傾向が見られた。脳卒中治療では新型コロナ患者IVRにも対応できる体制の維持に努めた。急性心筋梗塞では質の高い治療を実施し、急性期治療が終了した患者には、多職種による包括的心臓リハビリテーションを実施した。糖尿病治療では新型コロナ患者を含む他科との併診糖尿病患者についても、医師同士連携して安全に血糖コントロールを行った。また、新型コロナを懸念して来院できない患者の電話再診や病院からの連絡を実施した。

せのお病院においては、外来リハビリ体制の充実によりリハビリ患者数が増加した。後方支援病院として、急性期病院からの新型コロナ回復後の患者の受入に努め、初期救急医療でも市民病院と情報交換を行いながら発熱外来を実施した。地域の医療者や在宅支援者が交流できるコミュニティ会議は全てをリモート開催とし、参加者の希望を考慮した講演内容とすることで新規参加者を増やすことができた。

安全・安心な医療の提供については、多職種による医療安全管理室会議や医療安全管理委員会を定期的に開催し改善策等を講じた。院内感染では、感染管理システムを使用し、サーベイランスの強化を行った。新型コロナ対策では、岡山市保健所及び岡山県との連絡を緊密に行い、厚生労働省からの通知に迅速に対応しつつ、院内体制を構築し、職員・患者の管理を徹底し疑似症例の患者や確定患者を受け入れた。

総合的な診療体制の確立については、救急診療と感染症診療の両立をめざし、感染症専用病床の受入体制維持を行い、岡山E Rとそこから入院する症例のための機能強化を行い、感染症対策のできる職員を育成した。

医療の標準化の推進については、総合情報システムによるオンライン会議や面会システムの安定運用に努め、診療科でのリモートワーク実現に向けた整備を行った。新しい電子カルテシステムの導入に向け各分野の部会を開催し、患者サービスの低下を招く仕様とならないよう努めた。クリニカルパスでは、積極的に改訂や新規作成も行い、パス使用率も向上した。また、当院の論文が論文奨励賞を受賞し、クリニカルパスに対する啓発活動が学会発刊書籍に掲載された。

調査研究については、販売後調査を義務付けられた新薬については、販売後調査にも積極的に参加した。

患者中心の医療の提供については、インフォームドコンセントでは、患者への確実な履行と質の担保に努めた。医療相談窓口では、患者相談室やがん相談支援センター等で相談を受け付け、多職種カンファレンスにより改善が必要な事項について解決を図った。また、患者との信頼関係構築のために、職員が医療メディエーターの研修を受け、相談対応の質向上に努めた。薬剤管理では、薬剤管理指導件数、無菌製剤処理件数及び外来化学療法件数は、目標値を達成した。さらに、地域の薬局と情報共有を行い、地域の薬剤師と連携することに対して新設された連携充実加算も実施した。患者満足度調査では、入院・外来共に感染対策が評価され高い満足度を維持できた。市民や患者への情報発信では、院外広報誌、ホームページ、フェイスブックやFMラジオ番組出演等により情報発信を実施した。なお、市民公開講座や患者向け教室は新型コロナで開催を見送ったが、一部の教室では教育内容をwebや資料配布等で公開した。また、岡山市地域ケア総合推進センターと共同開催する「まちかど心不全教室」も実施した。

地域医療ネットワークの推進については、地域医療支援病院として、地域の保健・医療・福祉情報を把握し、地域医療を支援した。急性期治療が終了した患者の在宅復帰や転院調整の支援を院内外の多職種で連携して行った。また、市民病院地域ネットワーク等を活用した空床情報共有やカルナコネクト（インターネットによる患者受診予約システム）の普及にも努め、一定数の予約件数を維持した。医師不足が深刻な地域の医療機関への医師派遣では、岡山市内外の医療機関へ若い医師（研修医）を中心に派遣し、将来の地域医療を担う医師の人材育成に努めた。特に福渡病院は、医師派遣回数を増やした。

教育及び人材育成については、連携大学院制度において大学病院との連携を深め、各種講座を

維持し、引き続き救急医療現場での人材育成体制を強化した。組織体制では、人材開発室（人材開発センターから事業引継ぎ）を中心に階層別にキャリアに応じた研修を開始した。

保健医療福祉行政への協力については、地域ケア総合推進センターと定例会議を実施し、市民向けの患者教室開催や退院支援職員研修への協力等、協働で事業を実施した。市民の疾病予防の取組では、新型コロナの影響により市民公開講座は開催できなかったが、定期刊行雑誌に疾病予防等を掲載した。また、フェイスブック等で情報発信を行い、webマガジンの計画準備を開始した。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

法人経営については、新型コロナに関しては県や市からの要請に迅速に対応するための整備や教育を実施しながら、各病院の課題に取り組んだ。市民病院では、新型コロナ患者の受入れと通常の急性期医療への対応の両立を目指し、ICUの個室化や病棟再編、また重症対応看護師育成の継続等に取り組んだ。せのお病院では、地域医療の実践病院として訪問診療に加え、訪問リハビリテーションを行う準備を開始し、コロナ禍による面会制限への対応としてオンライン面会やオンラインによる退院調整を行った。多様な人材の確保では、初期臨床研修医のマッチングは10名フルマッチした。看護師は、経験者の確保のため経験者採用試験も実施した。事務職員は、医事職員を中心としMSWを採用した。新型コロナの影響によりwebでの採用試験実施等により多数の応募者があり、採用数を十分に達成し体制を整えることができた。外部機能評価の活用では、業務運営の改善に向けて、マニュアルの見直しや業務の改善に取り組んだ。

研修制度の充実及び資格取得への支援では、看護師特定行為研修について令和3年4月から市民病院内にセンターを開設し研修修了者は3名となった。人事評価制度では、評価研修を動画と資料を使用して実施し、例年どおりの人事評価を行った。職場環境の整備では、新型コロナ拡大に伴う診療体制の変更により、看護師を中途採用し増員した。また新型コロナ関連手当の増額等業務負担に対して適正に対応した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

持続可能な経営基盤の確立については、前年度に引き続き新型コロナの影響により新入院患者数等は目標を大きく下回ったが、平均在院日数の年度目標達成や新型コロナ対応と一般救急体制維持の両立等を行い、さらに、空床補償等の新型コロナ関連補助金による収益を確保できたことにより、大幅な黒字を達成した。収入の確保及び費用の節減では、新型コロナ対応による病床制限のため一般病床数350床の運用となり、病床稼働率は年度目標を大きく下回ったが、新型コロナと通常診療の両立を図るために医療機器の投入や人材の教育に力を入れ、入院収益は前年度に比べ7.9%増加した。費用では、人件費が新型コロナ関連手当や人材の追加採用等により増加したが、医業収益も増加した事もあり、給与費比率は年度計画目標値を達成した。未収金対策では、各種制度の活用により患者負担を最小限にすることで未収金の発生を未然に防止するとともに、発生した未収金は定期的な催促を行い、さらに弁護士による債権回収委託を活用し回収を図った。

第4 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置

市民の健康に寄与する取組として、新たに「まちかど心不全教室」を隣接する健康・医療・福祉系施設で岡山市地域ケア総合推進センターと共催した。

第5 予算(人件費の見積もりを含む。), 収支計画及び資金計画

1 令和3年度 予算

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算額－予算額)
収入	14,416	16,278	1,862
営業収益	13,674	15,519	1,845
医業収益	12,492	12,414	△ 78
運営費負担金収益	1,049	2,946	1,897
その他営業収益	133	158	25
営業外収益	111	106	△ 5
運営費負担金収益	49	48	△ 1
その他営業収益	62	57	△ 5
臨時利益	0	0	0
資本的収入	631	653	22
長期借入金	631	423	△ 208
運営費負担金収入	0	0	0
その他資本的収入	0	230	230
その他収入	0	0	0
支出	14,842	15,035	193
営業費用	13,060	13,207	147
医業費用	12,872	13,023	151
給与費	7,339	7,128	△ 211
材料費	3,177	3,602	425
経費	2,295	2,275	△ 20
研究研修費	61	17	△ 44
一般管理費	188	184	△ 4
営業外費用	170	170	0
臨時損失	0	0	0
資本的支出	1,612	1,659	47
建設改良費	712	751	39
償還金	900	905	5
その他資本的支出	0	2	2
その他支出	0	0	0
収支(収入－支出)	△ 426	1,243	1,669

※四捨五入により百万円単位にしているため、計の欄と数値が一致しない場合がある。

運営費負担金の中には、新型コロナウイルス感染症関連補助金を含む。

2 令和3年度 収支計画(損益計画)

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算額－予算額)
収入	13,812	15,685	1,873
営業収益	13,706	15,584	1,878
医業収益	12,445	12,358	△ 87
運営費負担金収益	848	2,754	1,906
資産見返運営費負担金戻入	212	210	△ 2
資産見返受贈額戻入	80	112	32
その他営業収益	121	150	29
営業外収益	106	101	△ 5
運営費負担金収益	49	48	△ 1
その他営業収益	57	53	△ 4
臨時利益	0	0	0
支出	14,253	14,496	243
営業費用	13,465	13,704	239
医業費用	13,277	13,524	247
給与費	7,387	7,234	△ 153
材料費	2,888	3,274	386
経費	2,028	2,044	16
減価償却費	918	956	38
研究研修費	56	16	△ 40
一般管理費	188	180	△ 8
営業外費用	788	793	5
臨時損失	0	0	0
純利益	△ 441	1,189	1,630
目的積立金取崩額	0	0	0
純利益	△ 441	1,189	1,630

※四捨五入により百万円単位にしているため、計の欄と数値が一致しない場合がある。
運営費負担金の中には、新型コロナウイルス感染症関連補助金を含む。

3 令和 3年度 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算額－予算額)
資金収入	19,853	21,301	1,448
業務活動による収入	13,585	16,071	2,486
診療業務による収入	12,492	12,323	△ 169
運営費負担金による収入	898	3,546	2,648
その他業務活動による収入	195	202	7
投資活動による収入	201	2,662	2,461
運営費負担金による収入	201	661	460
その他投資活動による収入	0	2,001	2,001
財務活動による収入	631	423	△ 208
長期借入による収入	631	423	△ 208
その他財務活動による収入	0	0	0
前年度からの繰越金	5,436	2,145	△ 3,291
資金支出	19,853	21,301	1,448
業務活動による支出	13,230	13,298	68
給与費支出	7,518	7,293	△ 225
材料費支出	3,177	3,338	161
その他業務活動による支出	2,535	2,667	132
投資活動による支出	712	3,637	2,925
有形固定資産の取得による支出	712	635	△ 77
その他投資活動による支出	0	3,002	3,002
財務活動による支出	900	905	5
長期借入の返済による支出	660	652	△ 8
移行前地方債償還債務の償還による支出	240	253	13
その他財務活動による支出	0	0	0
翌年度への繰越金	5,011	3,461	△ 1,550
単年度資金の増減額	△ 425	1,315	1,740

※四捨五入により百万円単位にしているため、計の欄と数値が一致しない場合がある。

運営費負担金には、新型コロナウイルス感染症関連補助金を含む。

第6 短期借入金の限度額

短期の借入は行わなかった。

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

該当なし

第8 剰余金の使途

令和3年度決算によって生じた剰余金については、すべて積み立てた。

第9 地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画

(単位:百万円)

施設及び設備の内容	決算額	財源
病院施設, 医療機器等整備	751	岡山市長期借入金等

監事監査報告書

令和4年6月9日

地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター
理事長 松本 健五 様

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター

監 事 大 倉 宏 治

監 事 吉 沢 徹

私たちは、地方独立行政法人法第13条第4項及び第34条第2項に基づき、地方独立行政法人岡山市立総合医療センターの令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び会計について監査を実施しました。
その結果につき、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

地方独立行政法人岡山市立総合医療センター監事監査規程に基づき、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等から業務運営の報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

会計監査については、関係帳簿書類の確認及び関係者への事情聴取等を行い、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について検討を行いました。

2 監査の結果

- (1) 業務の執行は、法令及び中期計画等に沿って適正に行われているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及び附属明細書は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示しているものと認めます。
- (3) 利益の処分に関する書類は、法令に適合しているものと認めます。
- (4) 事業報告書は、法令等に従い、業務の実施状況を正しく示しているものと認めます。
- (5) 決算報告書は、予算の区分に従い決算の状況を正しく示しているものと認めます。
- (6) 理事長を含む理事の業務遂行に関しては、不正の行為又は法令等に違反する重大な事実は認められませんでした。

以 上